

景観学習



Mission

1 半世紀の藤川の「いいとこ」を発掘せよ！

三代目ごとの藤川の魅力や、
まちの変化を知る

Mission

2 藤川の「いいとこ」を探検せよ！

まちを歩いて、「いいとこ」
を再発見

Mission

3 わくわくウォークラリーを開催せよ！

まちの「いいとこ」を
みんなで分かちあう

景観学習は、
普段見慣れたまちを
題材に、「見て・感じる」
感受性や、人と交流して学
ぶコミュニケーション能
力も育みます。

子どもの頃から、まちの景観につ
いて関心を持ち、景観やまちづくり
への意識を高めていくことは、自分
のくらすまちへの誇りと愛着を育むの
にとっても大切なことです。

本ガイドブックには藤川小学校の児
童を中心に結成された「藤川いいと
こ探検隊」が発掘した藤川のまちのい
いところの情報を盛り込みました。



藤川の景観を楽しもう！ まち歩きのおすすめ

前章の見方や感じ方を基に
実際にまちを歩いてみましょう。

見慣れた景観も見方が変わること
で、新たなまちの魅力に気づく
きっかけを与えてくれる
ことでしょう。

第三章では、
旧東海道沿いを中心に
藤川を4つのエリアに分け、
それぞれの景観の魅力を
読み解きます。

5つの視点

景観を体感しよう！

前章の見方や感じ方を基に、見慣れ親しんでいるまちを歩いてみましょう。
いつもと違う視点で見ることで、新たなまちの魅力や課題が見つかるはずです。



1 地形を意識する！

高台の展望や、谷地の囲まれ感、段差や緩やかな傾斜、平地といった地形の特徴を意識してみましょう。

- ・奥行きや囲まれ感は？
- ・高低差は？
- ・眺めは？

2 道の線形に着目する！

道の線形で景観の印象は大きく変わります。直線、曲線、突き当たり、十字路のそれぞれの景観の変化に着目しましょう。

- ・見通しは？
- ・視線の先は？
- ・どんな変化？

3 気になる建物や樹木をみつめる！

つい見たくなる魅力的な建物や樹木は、まちのシンボルとして重要です。自分だけの好きな場所なども見つけてみましょう。

- ・歴史的な建物？
- ・大きな木？
- ・目印になる？

4 幅や高さを感じる！

建物の幅や高さは、まち全体の景観のリズムをつくっています。また、道幅も狭い広いで景観の表情を左右しています。

- ・圧迫感はない？
- ・心地よい大きさ？
- ・比べてみると？

5 沿道のしつらえを楽しむ！

屋根や壁、生垣、道から見える花壇や並木、玄関先の景色などは、まちのくらしぶりや活気、季節感を伝えてくれます。

- ・花や緑は？
- ・庭や玄関は？
- ・季節感？

どうしてこの景観になったんだろう？
という問いかけをしながら、
まち歩きをして景観を読み解くことは、
その地域の「自然・歴史・くらし」を知って理解することと同じなのです。

目の前の景観には
意味があります！

景観を身近に感じ、地域の魅力や課題に気づくためのコツ

自然、歴史、くらしなどテーマを絞り込むことで、見たいものをしっかりと見つめることができます。

写真を撮るときは、意識していなくても自分が見たいと思う景観をフレームに切り取っています。

季節の変化により景観も変化します。また、場所によって異なる景観の多様さを探しましょう。

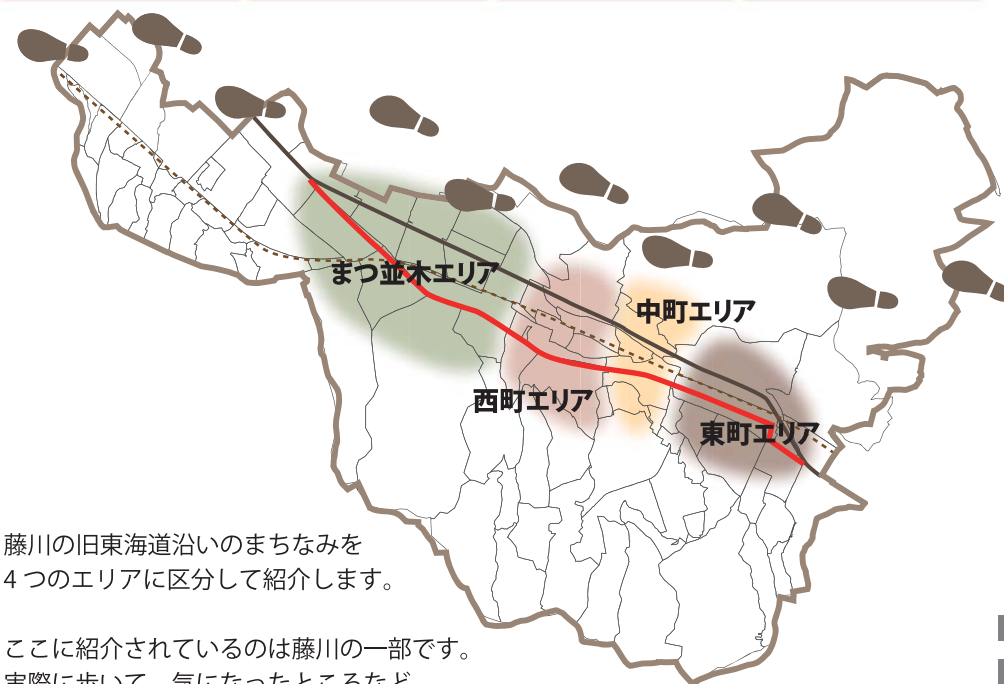
気づいた魅力や課題を人に話したり、聞いたりすることで、地域の魅力や課題について皆で共有しましょう。

テーマを決める！

写真に撮る！

多様さを楽しむ！

分かちあう！



藤川の旧東海道沿いのまちなみを
4つのエリアに区分して紹介します。

ここに紹介されているのは藤川の一部です。
実際に歩いて、気になったところなど
自分なりの景観をエリアガイドに加えていき
ましょう。

— 旧東海道

エリアガイド